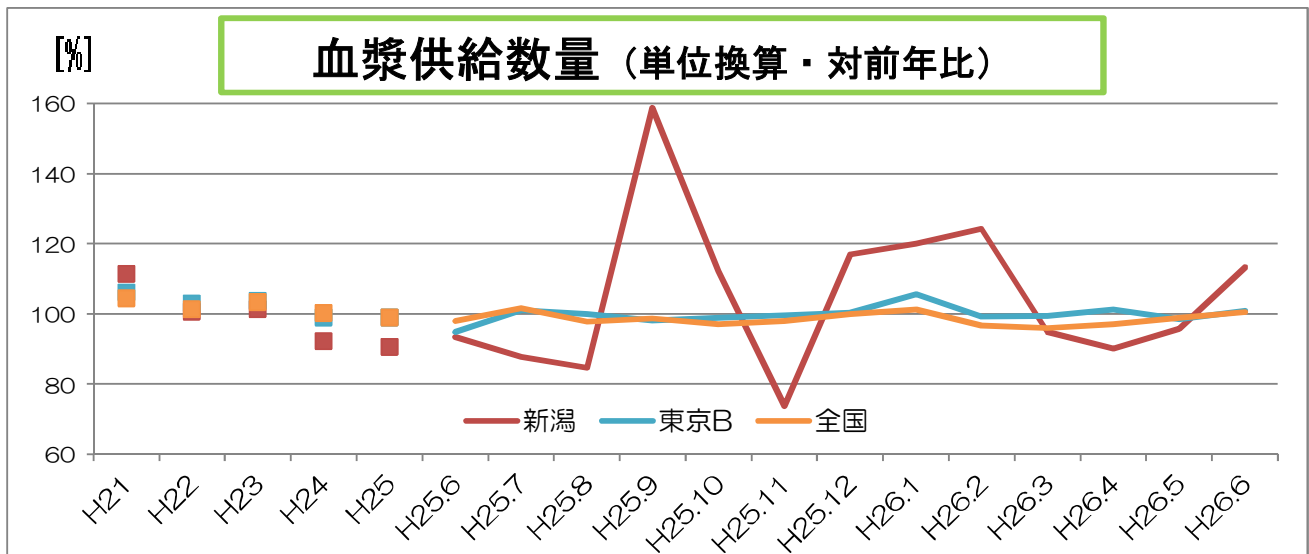
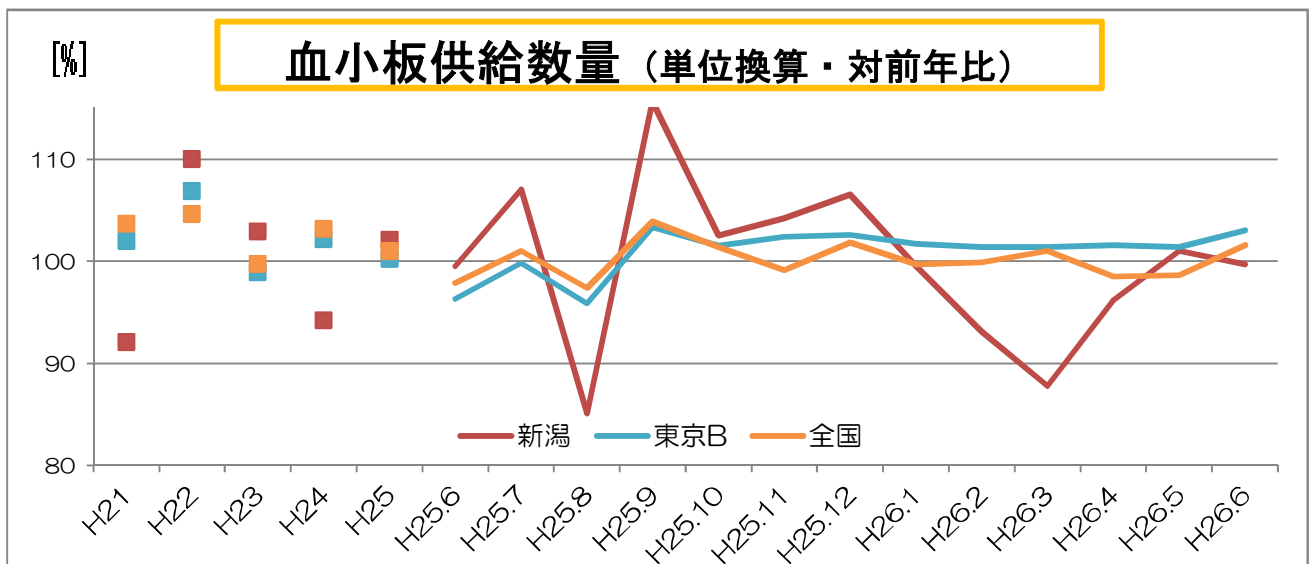
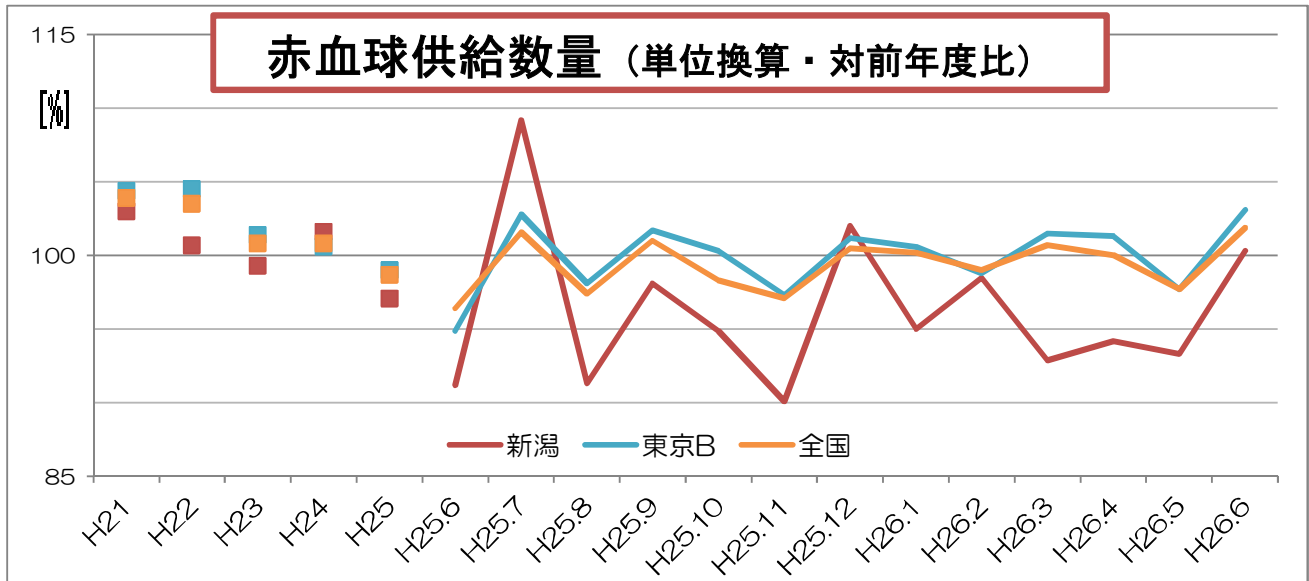
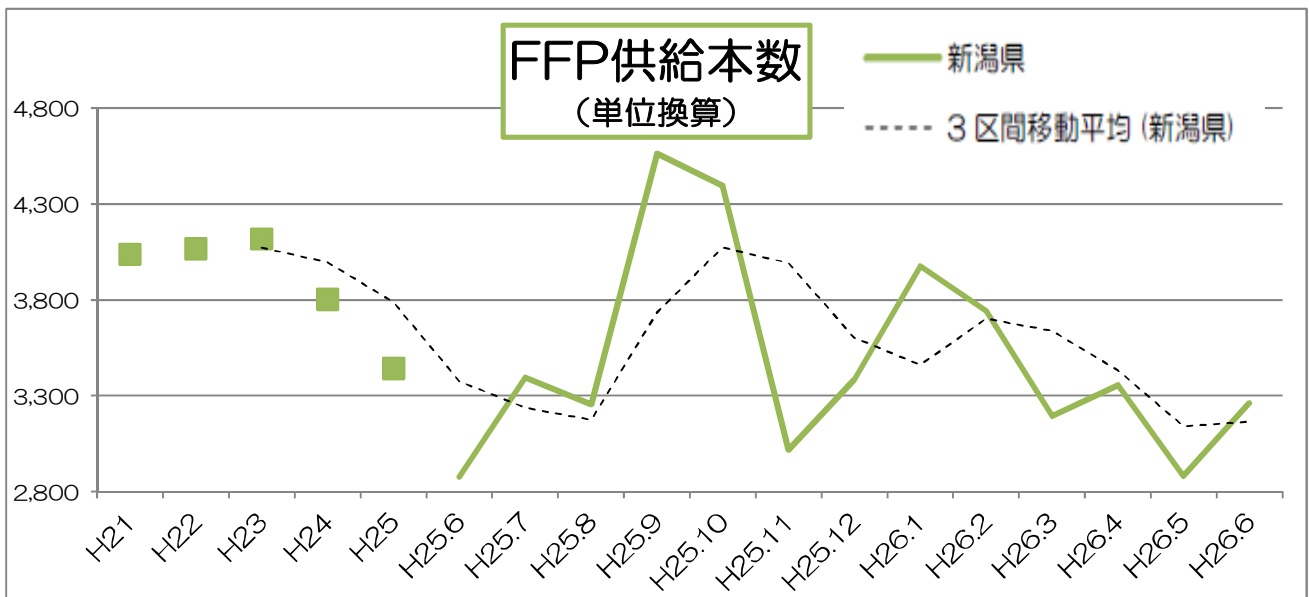
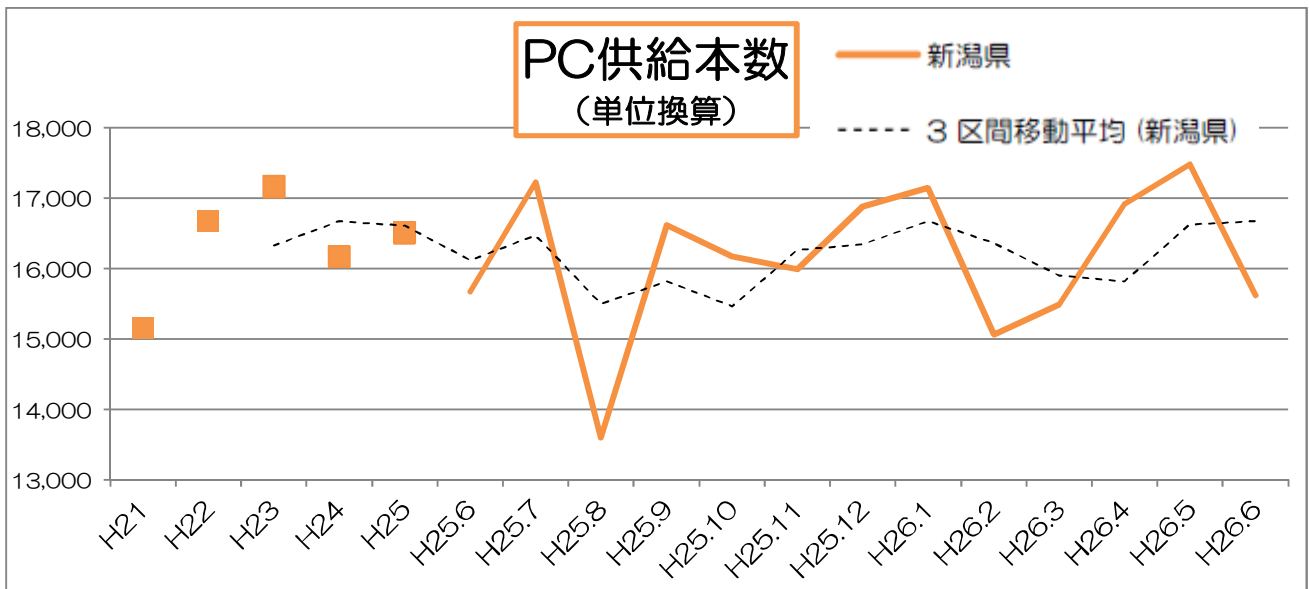
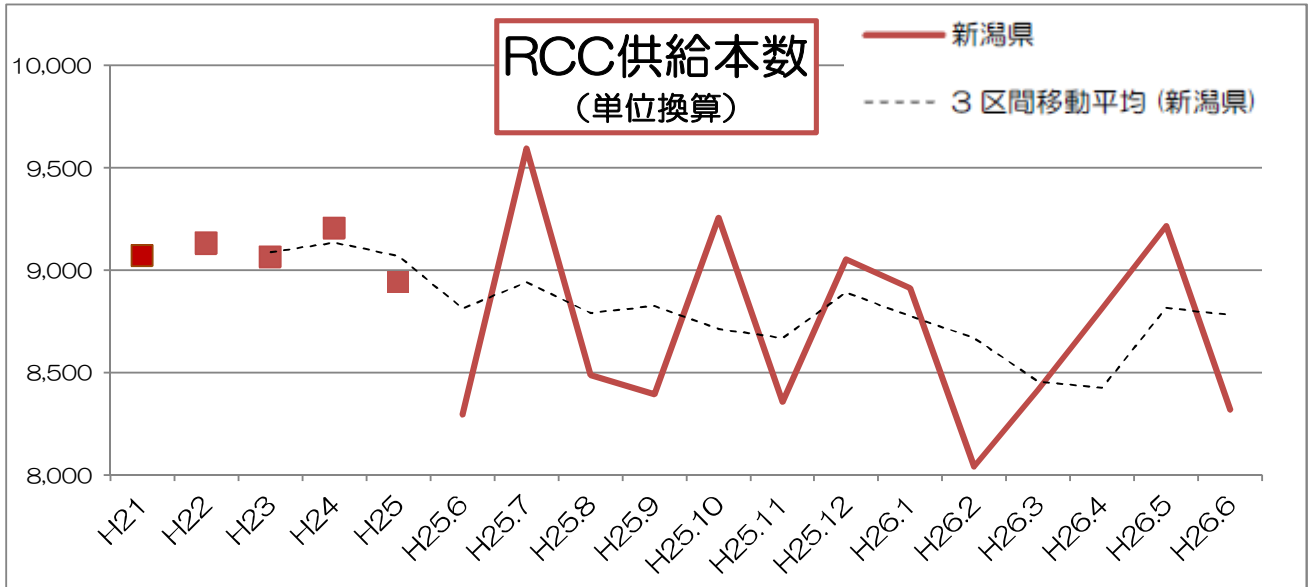


* 日本赤十字社ホームページ「数値で見る血液事業」より引用。

* 管内供給本数を単位換算、対前年同月比で示した。過去 5 年(月平均供給本数)のデータを追加した。





H26 年 血液製剤使用状況集計結果

対象： 新潟県内の輸血を行う主要な医療機関 82 施設

入力いただいたデータは下記の表の通り一般病床数により 6 つの規模別に分類して集計

◆6 月の特徴：赤血球製剤、血小板製剤共に先月の使用量より 10%減少、規模 C にのみ増加が見られた。
 反して血漿製剤は全体の使用量が 20%増加、規模 C・E・F では減少。血漿交換は 2.5 倍量となったが実施したのは全て規模 A であった。血漿製剤の廃棄率を見ると、使用量の減少した規模 C (23.08%) と規模 E (10.42%) が高率となった。

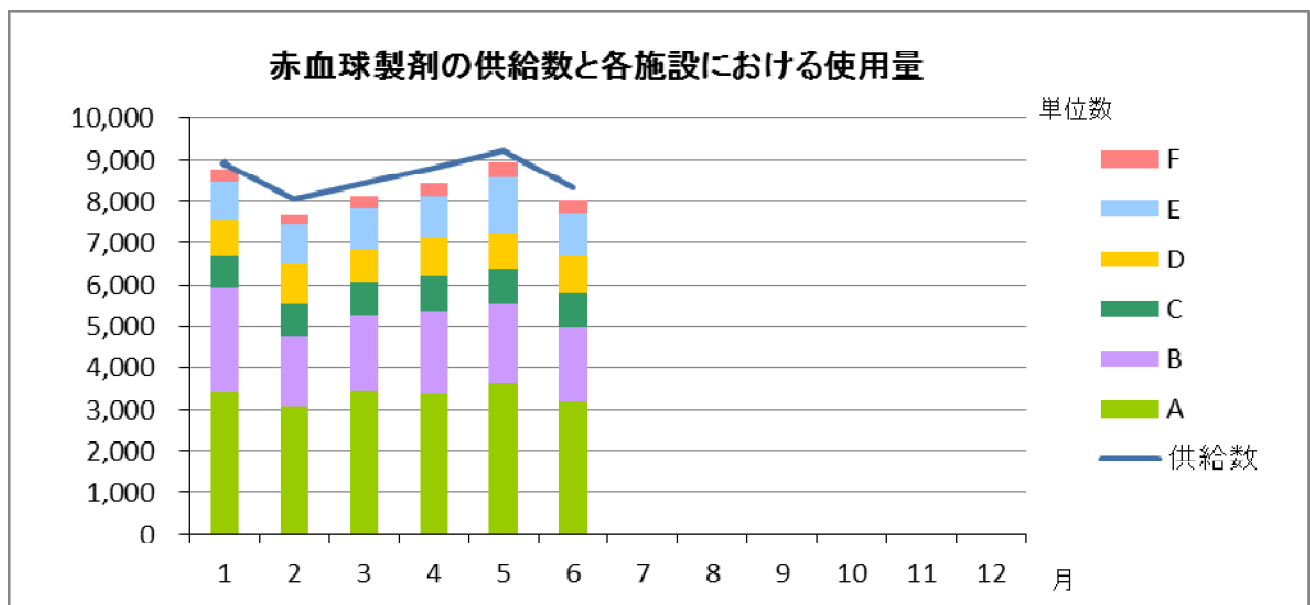
施設規模(一般病床数による)	施設数	病床数	
A	500床以上	6	3,562
B	400～499床	5	2,135
C	300～399床	7	2,223
D	200～299床	9	2,226
E	100～199床	23	3,674
F	0～99床	32	1,626
計		82	15,446

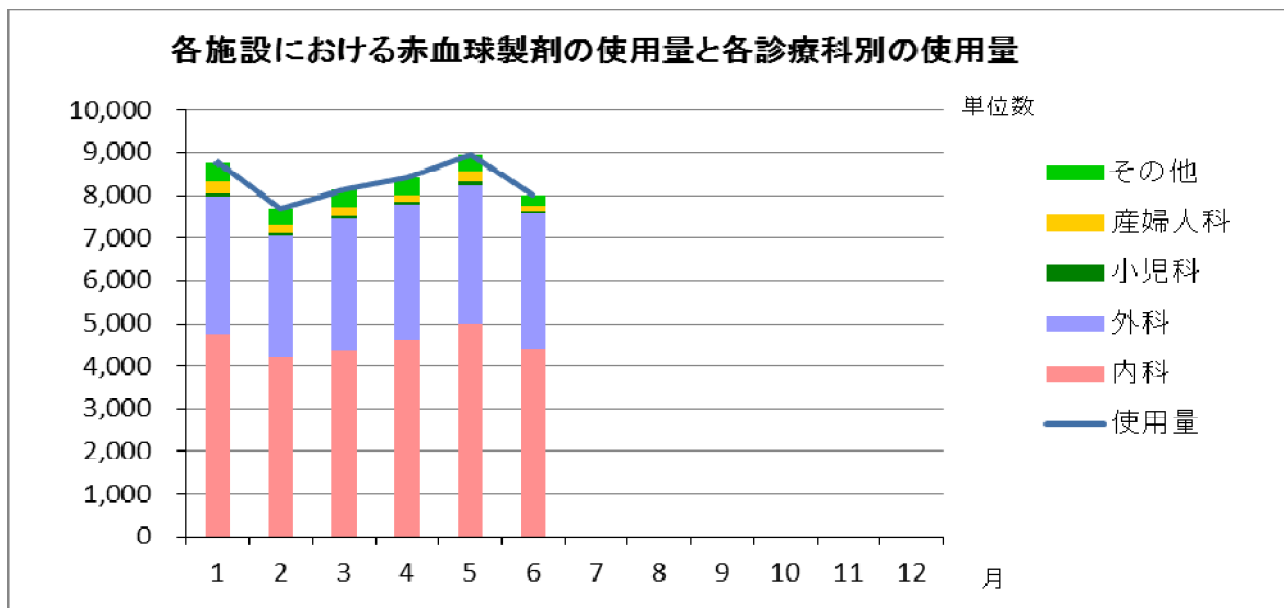
○赤血球製剤

赤血球製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	3,159	1,720	1,135	70	96	138	3,159	100.0
B	1,810	869	888	0	6	47	1,810	100.0
C	842	616	222	0	0	4	842	100.0
D	876	386	417	0	11	62	876	100.0
E	1,017	608	405	0	4	0	1,017	100.0
F	301	200	91	0	0	10	301	100.0



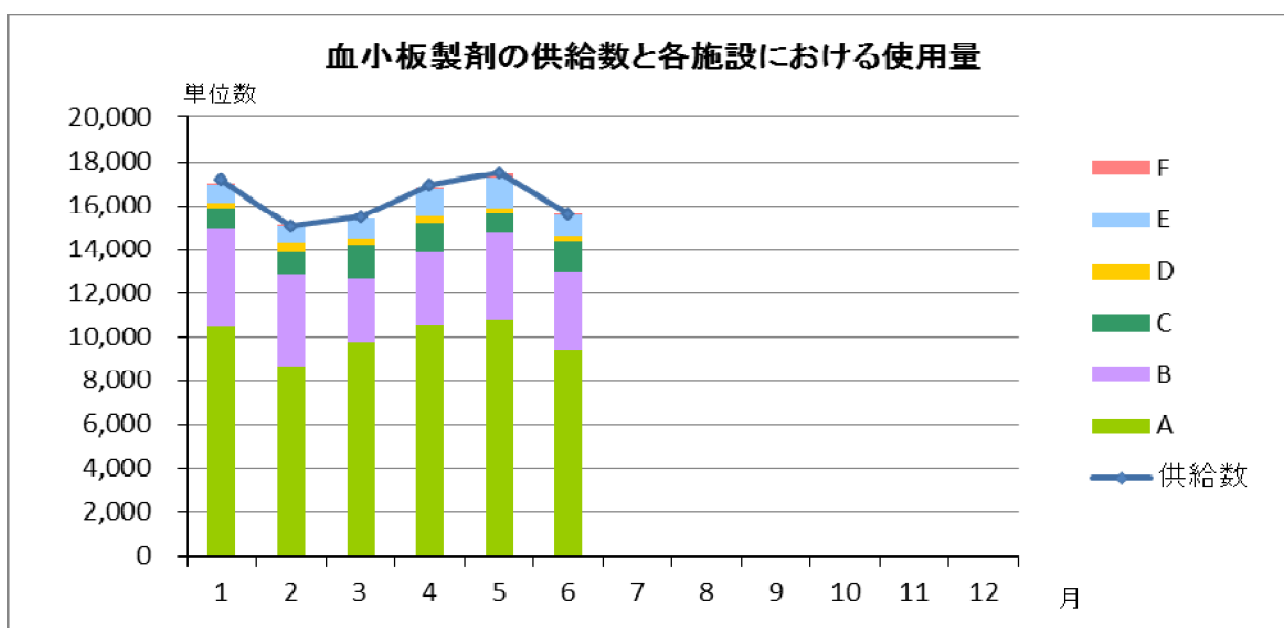


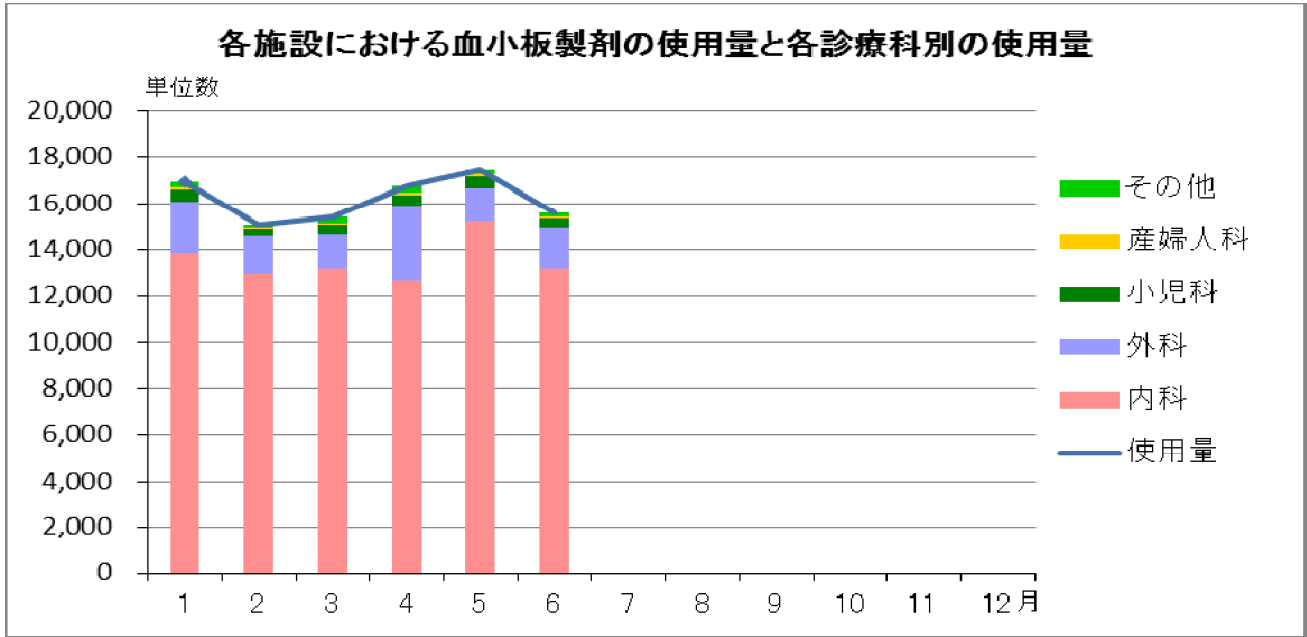
○血小板製剤

血小板製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	9,395	7,980	770	430	60	155	9,395	100.0
B	3,540	2,880	660	0	0	0	3,540	100.0
C	1,475	1,330	145	0	0	0	1,475	100.0
D	145	110	35	0	0	0	145	100.0
E	1,000	910	90	0	0	0	1,000	100.0
F	20	0	20	0	0	0	20	100.0



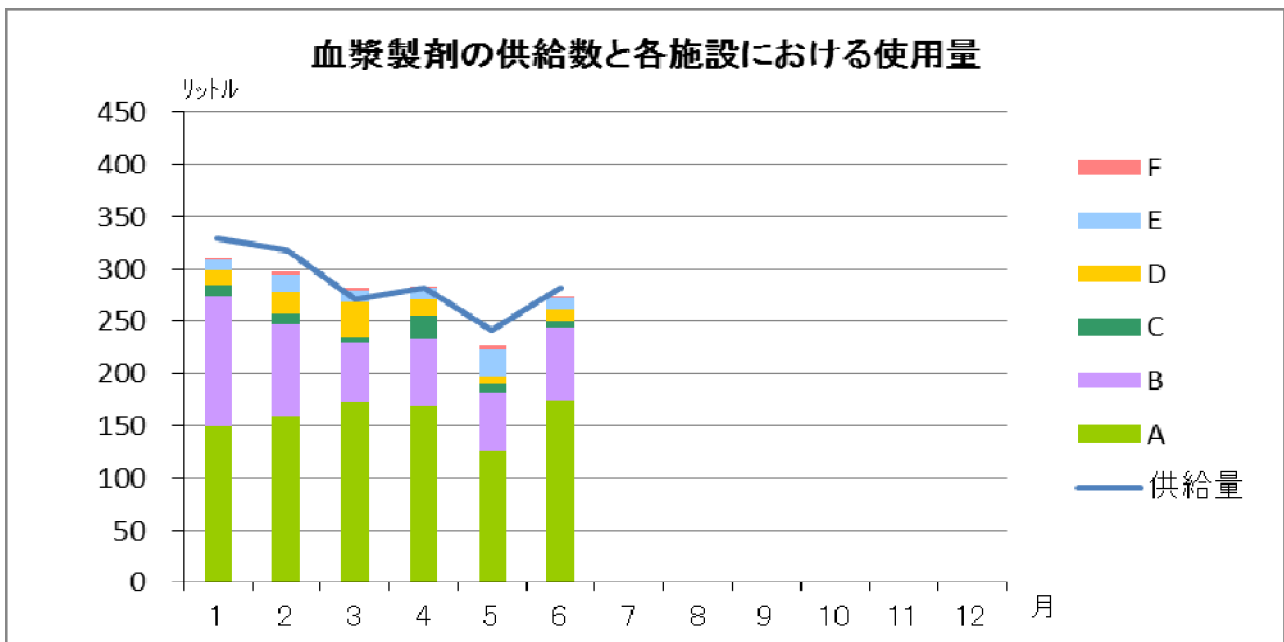


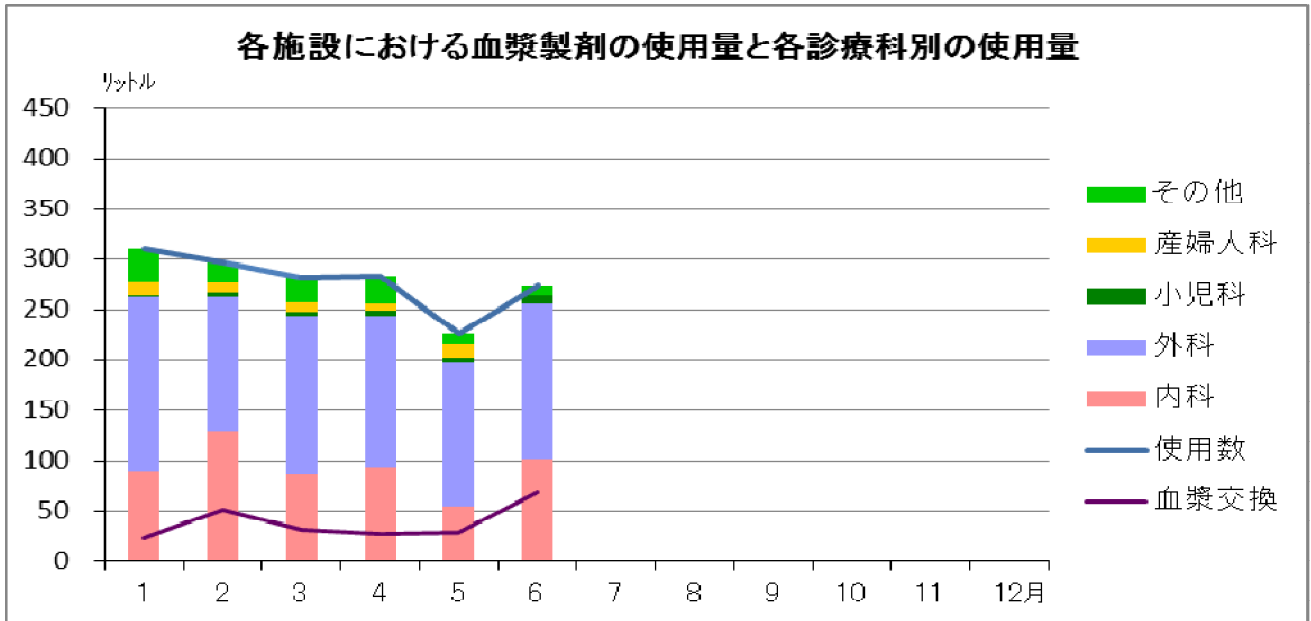
○血漿製剤

血漿製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (リットル)	診療科別						計	全体の使用量 に対する割合 (%)
		血漿交換	内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	174.0	68.6	81.6	78.6	8.3	0.2	5.3	174.0	100.0
B	70.7	0.0	7.1	63.6	0.0	0.0	0.0	70.7	100.0
C	4.8	0.0	1.0	3.8	0.0	0.0	0.0	4.8	100.0
D	12.1	0.0	5.9	3.1	0.0	0.0	3.1	12.1	100.0
E	10.3	0.0	5.0	5.0	0.0	0.2	0.0	10.3	100.0
F	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	100.0



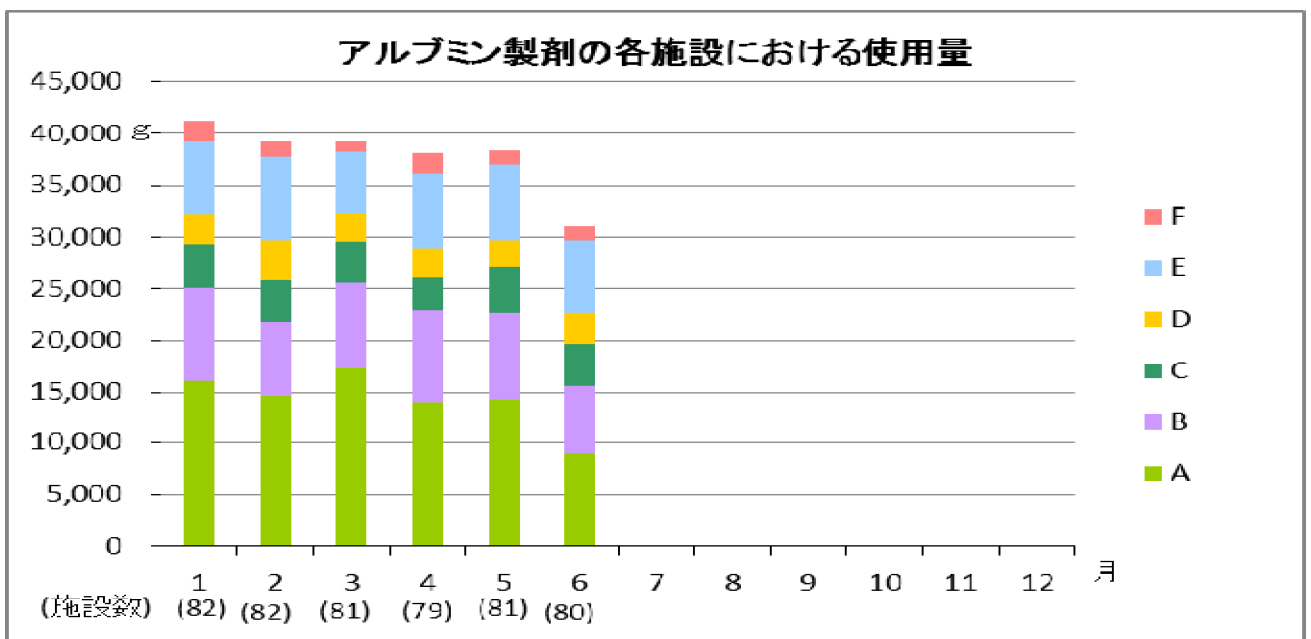


○アルブミン製剤

アルブミン製剤の使用量と各診療科別による使用量

- * 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示
- * 他の血液製剤と異なり全ての医療機関から回答を頂けていないため、入力されたデータのみ表示
- * () 内はアルブミン製剤の使用量の入力がされた施設数を表したもの

規模別	全体の使用量 (グラム数)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A (5/6)	9,080.0	3,285.0	2,917.5	82.5	195.0	37.5	6,517.5	71.8
B (4/5)	6,462.5	1,237.5	1,012.5	0.0	37.5	175.0	2,462.5	38.1
C (7/7)	4,166.0	3,350.0	816.0	0.0	0.0	0.0	4,166.0	100.0
D (9/9)	2,986.1	1,290.3	933.1	0.0	0.0	0.0	2,223.4	74.5
E (23/23)	7,101.5	4,115.0	1,186.5	0.0	12.5	200.0	5,514.0	77.6
F (32/32)	1,310.5	1,015.0	258.0	0.0	0.0	0.0	1,273.0	97.1

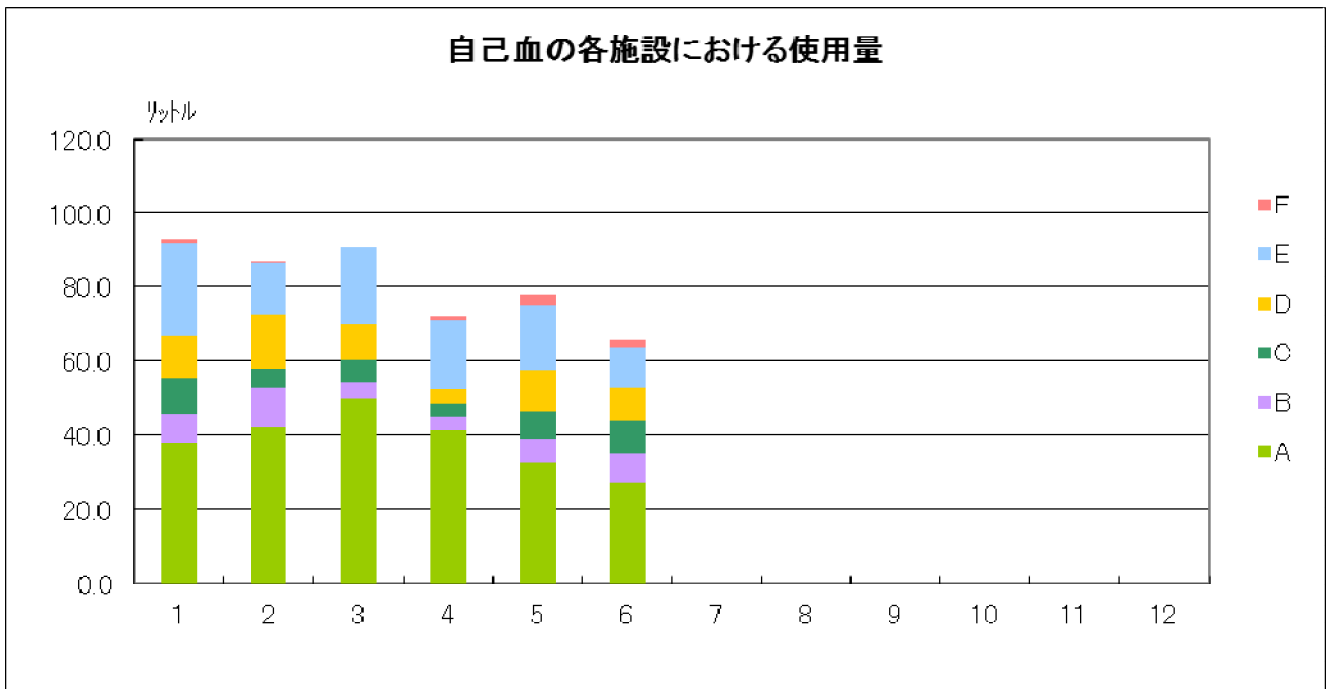


○自己血

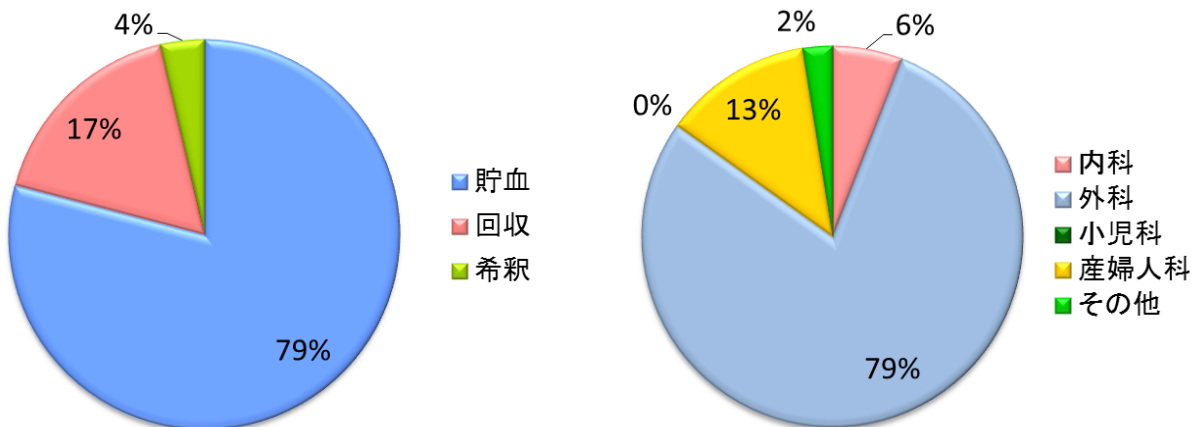
自己血の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	自己血使用量(リットル)				診療科別						全体の使用量に対する割合(%)
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計	
A	19.0	5.9	2.4	27.3	3.8	18.0	0.0	5.5	0.0	27.3	100.0
B	3.2	4.5	0.0	7.6	0.0	5.7	0.0	1.2	0.8	7.6	100.0
C	8.8	0.0	0.0	8.8	0.0	8.8	0.0	0.0	0.0	8.8	100.0
D	8.3	1.0	0.0	9.3	0.0	7.8	0.0	0.7	0.8	9.3	100.0
E	10.9	0.0	0.0	10.9	0.0	8.2	0.0	0.7	0.0	8.9	81.7
F	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	100.0
計	52.1	11.4	2.4	65.9	3.8	50.5	0.0	8.1	1.6	63.9	97.0



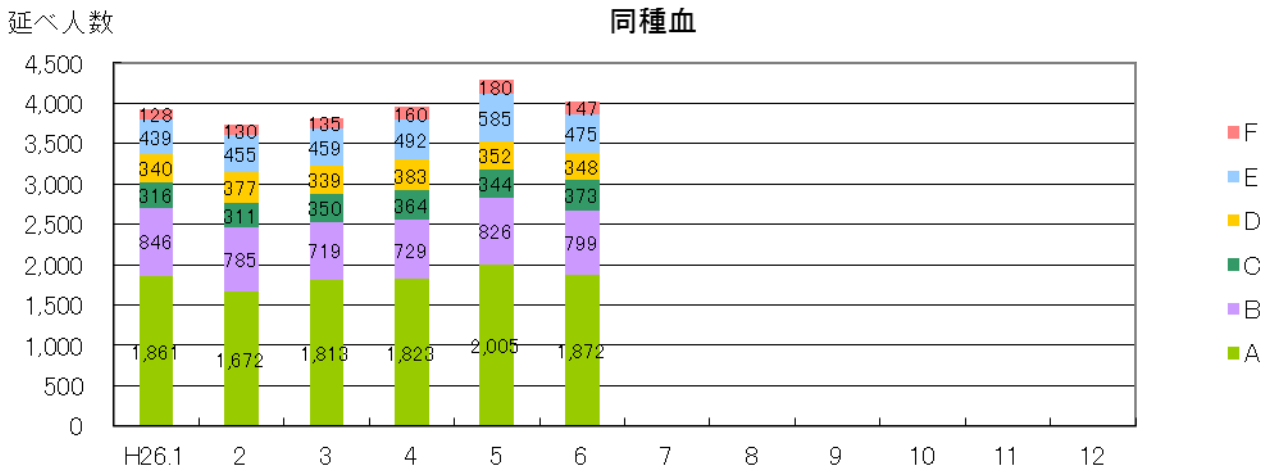
【自己血輸血の種類と診療科別の割合】



○輸血実施患者数（延べ人数）

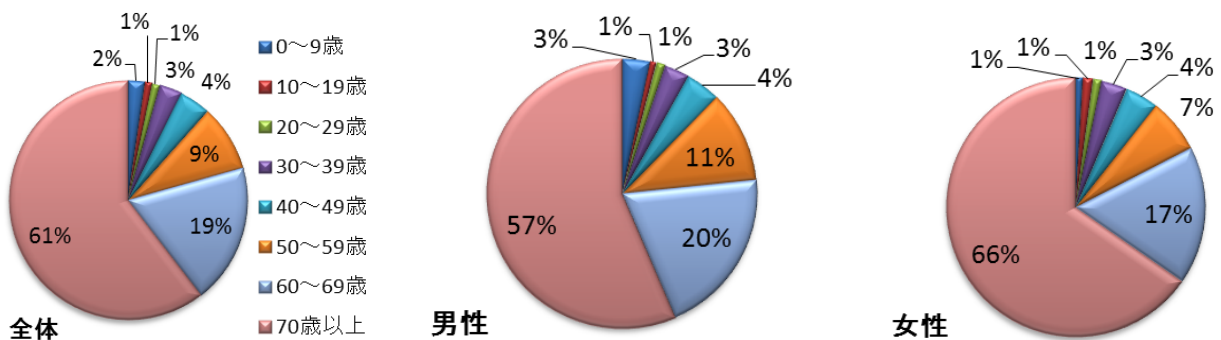
6月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	1,872	799	373	348	475	147	4,014
1床あたり	0.53	0.37	0.17	0.16	0.13	0.09	0.26
自己血	56	14	17	24	23	4	138
アルブミン	380	326	259	174	285	51	1,475

※ アルブミンについては全施設がデータ提出しているわけではないので参考データ扱い。



【男女別年代別の同種血延べ人数】

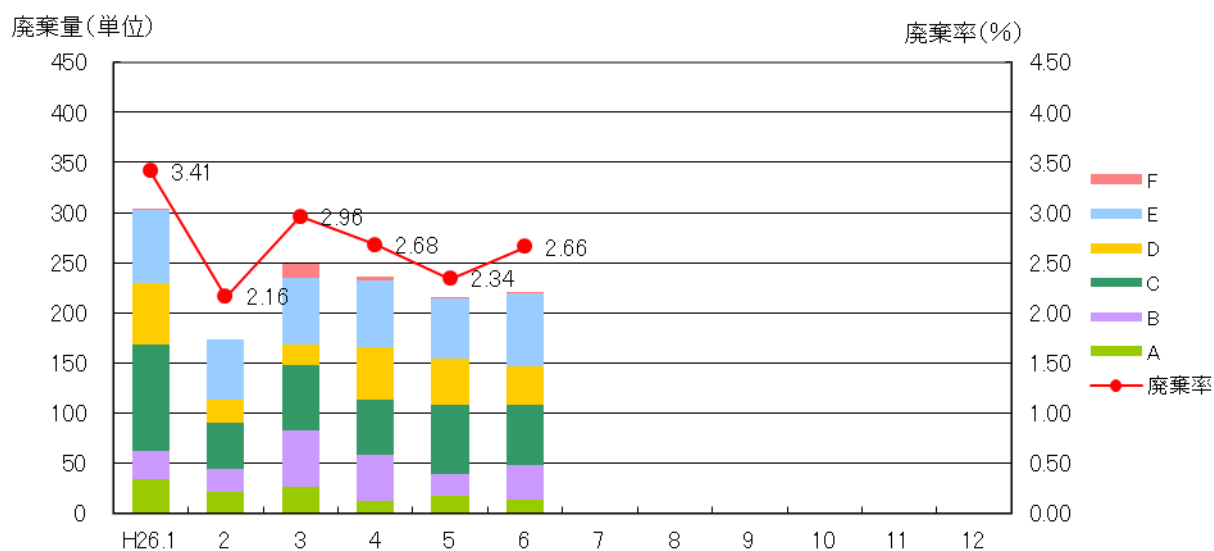
6月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	45	10	14	40	57	147	271	756	1,340
女	10	14	12	36	47	76	193	731	1,119
計	55	24	26	76	104	223	464	1,487	2,459



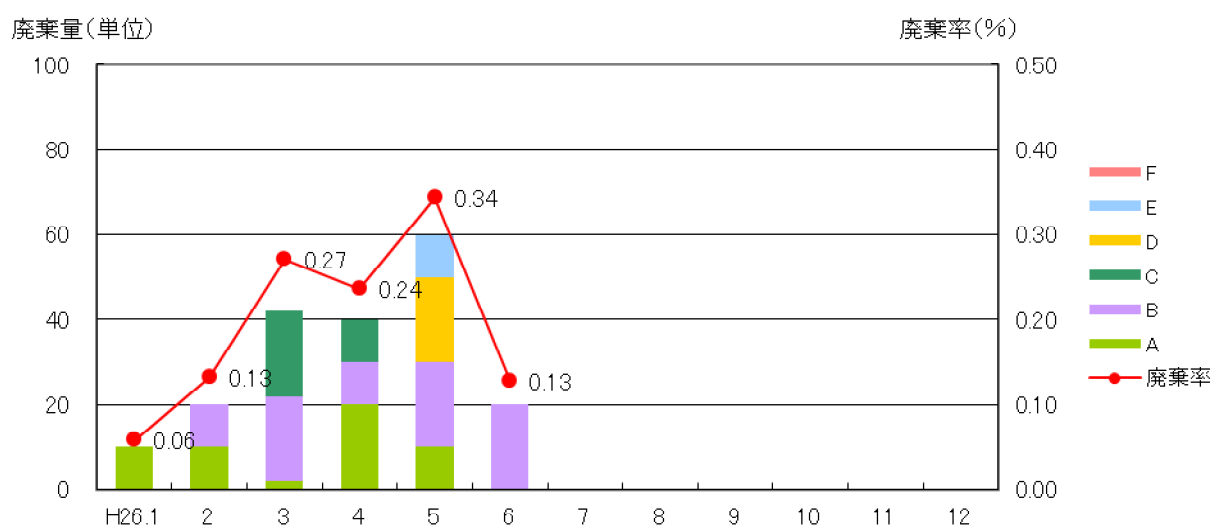
○血液製剤及び自己血の廃棄率

6月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤(単位)	14	34	60	39	72	2	221
血小板製剤(単位)	0	20	0	0	0	0	20
血漿製剤(リットル)	3.6	0.7	1.4	0.5	1.2	0.0	7.4
自己血(リットル)	1.8	1.2	0.0	0.4	2.7	1.0	7.1

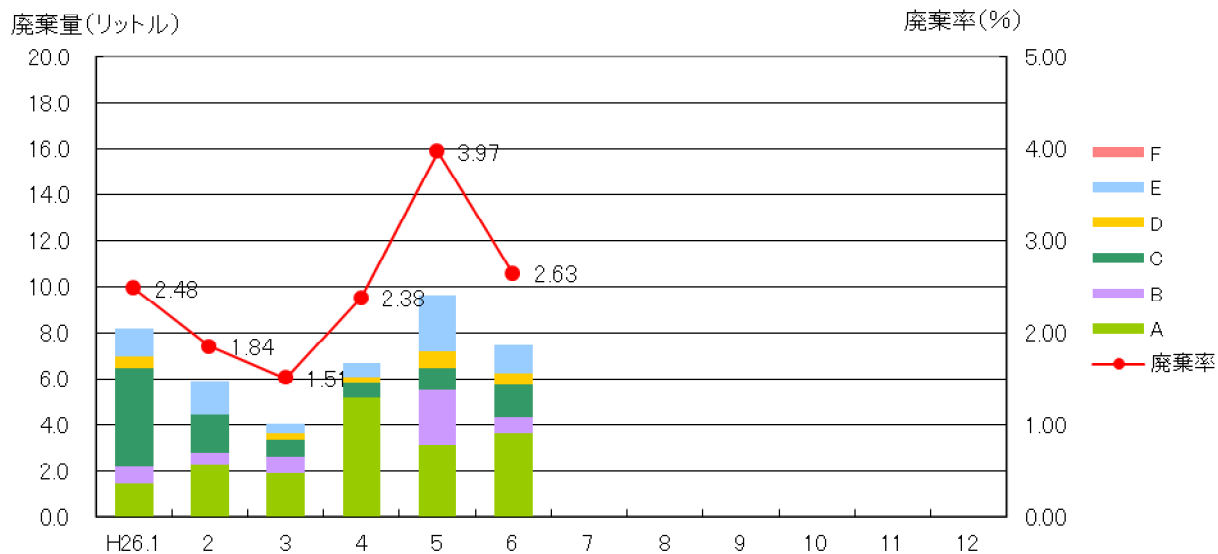
赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



血小板製剤の廃棄量と廃棄率



血漿製剤の廃棄量と廃棄率



自己血の廃棄量

